

100億宣言



株式会社ムロオシステムズ



計算力センター

- 本社所在地：東京都中央区
- 事業概要：国際貿易のデジタル化、計算力センターの運営、原子力施設の廃棄物管理・廃止措置のエンジニアリング
- 常時使用する従業員：33名
(2026年3月時点)
- 現在の売上高：40億円
(2026年3月期)
- 法人番号：4240001027329
- Web：https://www.muroosystems.com/

株式会社ムロオシステムズ（情報通信業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
潘 忠信

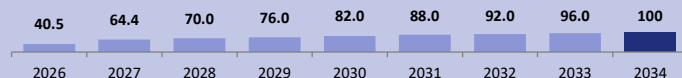
未来を支える技術を社会の力へ

私たちは「Market-in（お客様第一主義）」「My company（主役は私）」「More think（創意工夫）」を基本理念とし、DXで培った技術を社会インフラ分野へ広げてきました。**2034年にムロオシステムズ単体で売上高100億円を達成します。**国際貿易DX、計算力センター、原子力エンジニアリングの3事業を均等に成長させ、新規のAIクラウドサービスを成長の柱に加えます。その他の既存事業も着実に維持・成長させ、国内外の社会インフラを支える技術とサービスを提供します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年に売上高100億円を達成します。
2026年3月期の40.5億円から年平均約12%で成長します。主要3事業は2028年から毎年ほぼ同額ずつ伸ばし、AIクラウドは2027年から年24億円の継続課金型クラウド収入を加えます。（グラフの単位：億円）



課題

- ・**国際貿易DX**：三国間貿易の取引件数を増やし、取引先と取扱品目を広げる必要があります。
- ・**計算力センター**：国内外で拠点を増やすため、設備投資の資金と電力の確保が必要です。
- ・**原子力エンジニアリング**：カザフスタンとウズベキスタンの協力案件を受注につなげる必要があります。
- ・**AIクラウド**：サービス開始に必要な設備と人材をそろえ、顧客を獲得する必要があります。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・**国際貿易DX**：自社の貿易プラットフォームで、書類作成から通関、決済までを処理する三国間貿易の取引を増やします。
- ・**計算力センター**：当社の特許技術（特許第7671564号）を使ったウォーターカーテン／水冷式のコンテナ型計算力センターにより、冷却にかかる電力を従来の空調より40%以上削減できます。この技術で国内外の拠点を増やします。
- ・**原子力エンジニアリング**：子会社NUKEMの放射性廃棄物管理と廃止措置のノウハウをもとに、当社が中央アジアの原子力案件を受注します。
- ・**AIクラウド**：2027年に新規事業としてサービスを開始します。GPU約1024基を備えたAI計算基盤を整備し、企業・研究機関へクラウドで提供します。継続課金型の利用料収入を積み上げます。

実施体制

- ・社長のもと、事業開発、海外事業、ITソリューション、国際貿易DX、NUKEM事業開発などの組織を横断して推進します。
- ・原子力エンジニアリングは、子会社のNUKEM Technologies Engineering Services GmbHの技術とノウハウを活用し、当社自身が受注して売上を計上します。
- ・AIクラウドの担当組織：データセンター運用グループ
- ・今後の体制整備の方針：計算力センター事業の設備と運用人員を活用し、GPU基盤の整備、顧客への提供、継続課金型の保守・運用を一体で行う体制を整えます。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです